



学校だより

4月号

<http://www.edu.citv.yokohama.jp/sch/es/morin>

新たな気持ちのスタートに!

学校長 酒井 浩明

正門側の桜が咲き、通学路途中の木々の若芽や校庭のパンジーなどが、子どもたちの新しい一年の始まりを見守っています。

本日は、お子様の入学・進級、誠におめでとうございます。

この度、4月1日付で着任いたしました酒井浩明でございます。これまで、森の台小学校の教育に御尽力をいただきました田中校長先生の後を引き継ぎ、995名の子どもたちのために、教職員と共に、精一杯努力したいと思っていますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

着任したばかりではありますが、**学校教育目標の『自分大好き 友だち大好き 共に学ぶ子実践する子』**を目指して、「**地域や保護者と共に、子どもも教師もともに育ち合う学校経営**」を次のことを大切にして進めて参りたいと思っています。

- ・ 森の台小のよさをしっかり確認する
- ・ コミュニケーションとチームワークの学校
- ・ あいさつ、ともだち、あそび、もの、時間を大切にする子

本校が築いてきたよき伝統を確認し、恵まれた地域・環境を活かしながら「**チーム森の台小**」で、地域の中の学校として、お子様の成長を支えて参ります。保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様、どうぞ御理解、御支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

さて、今日の始業式・入学式は、1年生はもちろんですが、進級したすべての子ども達にとって、さらに私を含む教職員達にとっても、希望と不安の入り交じった出会いでした。



<通学路脇のつくし>

学校にとって節目となる大切な1日です。

この節目は、一人ひとりの子どもも、そして教員も、新たな人との出会いとともに、**新たに「よりよい自分」を目指し、夢をもって生まれ変わる大切なチャンス**でもあります。

今日の出会いを、素敵な新たなスタートとするためには、特に明日からの過ごし方が大切です。

始業式では、「**新たな学年や学級では、過去の友達の課題や問題を口にするのではなく、新たなよい関係を築けるように、見方のリセットをしていきましょう。**」「**さわやかな挨拶**」とともに、「**言われて心がチクチク痛くなる言葉ではなく、心がふわふわと温くなる言葉が使える人になってほしい。**」と話しました。

すでに各家庭では、昨年度のあゆみや振り返りを活かして、新学年での目当てなどを確認していただいていることと思いますが、**素敵な学級創りの第一歩には、担任の努力と共に、保護者の方の前向きな後押しが大切です。**改めてのご協力をお願いいたします。